

全附P連 令和8年度 附属学校・PTA活動 情報紹介シート

所属学校名	大阪教育大学附属高等学校池田校舎		
役 職	副校長	氏 名	辻本 堅二
活動名称	探究人を育てる学びの力を未来へつなぐ！ ～附属学校園支援事業基金を活用した新たな仕組み～		
本校はこれまで「自由・自主・自律」を基盤に、生徒の自己実現の達成を図るための教育活動を展開してまいりました。そして、今後のグローバルな社会における中核的存在として活躍する「グローバルリーダー」の育成をめざしています。その新たなステージに向けて「科学する力」「行動する力」「グローバルな視野」を重点的要素とした教育研究を進めてまいります。そして、これらの取組は、国際社会で求められる資質・能力の育成を目的として位置づけています。 一方で、大学からの運営費（配分予算）の減少や物価高騰、また、教育後援会にご尽力いただいている寄付金にあっては、今後のクラス数の減少、保護者からの寄付が１００％である現状など課題も多くあると考えています。 このような背景から、探究活動・国際教育・大学連携などの教育活動を維持するための財源が不足することが予測されます（現状すでに不足しています）。このままでは探究活動の高度化・国際教育・大学連携など、本校が誇る教育の質を維持できなくなる恐れがあります。 このような状況や課題を踏まえて、持続可能な教育支援財源の確保をめざし、今後は大学の「附属学校園支援事業基金」を活用いたします。卒業生（同窓会）や連携する企業、PTA の働きかけによる保護者など、幅広い「学びを支え応援する支援金（寄付金）」を活用した新たな仕組みが、教育環境整備の重要な位置づけになってくると考えています。 寄附金は「附属学校園支援事業基金規程」に基づき、以下の事業に充当する予定です。 (1) 教育施設整備支援 老朽化した施設・設備の更新、安全教育設備の強化など、物理的な学習環境の改善 (2) 学習支援 探究活動の教材・実験材料の購入、ICT 教育の推進、図書資料の充実など、学習活動の質向上に関わる支援 (3) 大学連携プログラムの実施支援 大学連携プログラムの実施支援など、本校の教育目的達成に必要な事業			



▲本校 HP トップを一部抜粋 (<https://f.osaka-kyoiku.ac.jp/ikeda-h/>)

本校生徒の活躍

第5回高校生国際会議

2026 年 1 月 24 日(土)に第5回目の高校生国際会議を本校と附属高等学校平野校舎で共同開催しました。



待兼山会議（大阪大学）で本校生徒が研究発表をしました
◎2026年4月6日 ■総合的な探究



【表彰】中高生探究コンテスト2026で本校生がファイナリスト、セミファイナリストに！
◎2026年3月19日 ■総合的な探究

▲本校 HP 「教育支援基金募集ページ」より一部抜粋